



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

## 2016年(平成28年)9月度 理事会議事録

【日時】2016年9月17日(土) 9:30 開始 - 12 00

【場所】JSPE 溜池事務所 および スカイプ

【出席者】17名 (うちスカイプ 計10名 ●印)

(理事)●川村、阪井、●柴山、●横山、●渋谷、森山、山浦、●小口、●森口、鈴木、三野、出家、  
●寺田、峯松、●村瀬

(監事)●植村、●竹政

【欠席者】0名

【審議事項】(審議希望事項と提議者・部会名を記載のこと)

1. 議事進行者、書記、議事確認者を議長より指名 書記:三野、承認者:川村、阪井、柴山

2. 会員数推移(会員) …… 資料 01

7月度理事会後 PE 175名 準PE 67名 FE 83名 AF 24名 ST 4名 合計 353名

今理事会時点 PE 177名 準PE 68名 FE 82名 AF 23名 ST 4名 合計 354名

新入会員1名、資格変更2名、資格回復1名があった。

3. 2016 SAME Professional Engineering Symposium への派遣(横山)資料 02

11月7日及び8日の両日、沖縄でシンポジウムが開催されることについてJSPEとしての対応を協議した。

⇒アラオ氏とコンタクトを取り、勤務先業務に関連して日米欧の防火規格の違いを公表したいとの希望を伝えたが、先方としては参加団体としての発表を優先したい意向のようであり、このテーマでの発表・参加は取り下げることにした(植村監事)

⇒先方には、今回の理事会を踏まえて返事すると伝えている。JSPEの活動概要について発表の依頼があった。川村会長が対応可能か(横山理事)

⇒参加する。登録関係の書類は横山理事にお願いしたい。参加にあたり、寄付はしない方針だが、参加費・渡航費等は予算措置が必要。この点理事会承認頂けるか(川村会長)

⇒「承認」(全理事)

4. NCEES 学歴評価支援サービス及び英訳サービス(会員) 資料 03-1, 03-2

これまでの会員向け案内文では、「試行」としていたが、試行段階を脱しているため、これを削除するとともに案内文を見直す。また、英訳サービスの会員向け案内文については、文案を見直した(小口理事)

⇒当組織は収益事業を行わないとして非課税対象となっているが、「サービス」という表現は収益事業との誤解を与える可能性があることから会員同士の互助作業という意味合いをイメージしやすい「プロジェクト」に変更したい。また、プロジェクトであれば、現在作業にあたっている方々以外の会員も参加しやすい印象を受けるのではと考える。(渋谷理事)

⇒「必ずしも通用するかどうか」という文言は、即ち大学が受けてくれるかどうか、ということであると思うが、本文では、「NCEESが主体」ととられかねない。ここは明記しておくべきである(森口理事)

⇒NCEESがCE結果をUnofficialとして出す背景は、本判断が各州Boardによるものと位置付けているからではないか。一方で、JSPEがUnofficialとはいえ、翻訳にCertificateを発行する以上、原文をつけるべきである。個人的にOfficialドキュメント翻訳を依頼した際には、Certified Translatorによる翻訳サービスにおいて、原文が添付されていた。(柴山理事)



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

⇒議論を受け、表記文面を再度見直し、メールにて配布するので、コメントをいただきたい(小口理事)

#### 5. グローカルサロン(仮称)立ち上げ提案 (川村) 資料 04

今年度活動方針を具体化する施策の一つとして「グローバルサロン(仮称)」を立ち上げたい。趣旨、実施案は資料 04 に示す。役員有志からの反応を聞きたい

⇒地域に限る必要はなく、テーマを設定し、Web 等を通じてディスカッションを行う方を主眼とする方が参加者に対するハードルが一つ減ると思われる。知らない人と対面で会うことに抵抗がある会員や、そこに価値観を見出さない会員もいると考えるべき。何か一緒にやった実績があればそれをネタに会おうということになって対面の場に繋がるということもあり得る。(渋谷理事)

⇒九州や北海道では、会員が数名の地域もある。顔を合わせて議論を行う必要があるのは理解できる。ただ、土木・電気等会員の専門もさまざまであり、共通のネタを探すのも難しい(峯松理事)

⇒地方の会員の活動や会員増員については、これまでもずっと課題であった。よってこの案は極めて重要であり、廃案にすべきでない。地方出張等をうまく活用し、テーマを絞ってディスカッションを行う、というよりも、会員交流という体裁で垣根を低くし、参加しやすくする方がよい(植村監事)

⇒地方では、活動している実感のない会員がいることも事実である。会員一斉連絡よりも、対象の地方に、例えば掲示板等を通じて呼びかけをした方がよい。テーマは、例えば首都圏ではPEはこんな仕事をやっている、などといった交流が主体。リーダーシップをとる一歩目が踏み出しきれないのは、やはり準備。ES だと PDH も発行されるため、講師も準備をしている。(鈴木理事)

⇒会員間の掲示板を通じた交流については、現在運営を含め、検討中である。ディスカッションについては様々なテーマがある方が、いろんな専門分野の話が聞けても良いと思う。専門外分野の情報や知識から、新たな発見だけではなく、アイデアが生まれる可能性もあり、勉強になる。(柴山理事)

⇒いろいろ企画をしても4-5人しか集まらない。よって、最近では、大学の講座にPDH発行を頼み、参加させてもらっているケースが多い。(村瀬理事)

⇒単にディスカッションだけでも、議事録があればPDHを発行できる。参加者のモチベーションの一つは、やはりPDH証もあると思われる(川村会長)

⇒例えば、九州地方を対象に、本件のトライアルをやってみたい。可能な限りカジュアルに実施し、課題等を見つけたい。簡単な企画書は後ほど作成し、理事に配布するので、コメントをいただきたい(鈴木理事)

⇒技術士会のイベントにつき、調査し、何かできないか探してみる(村瀬理事)

⇒本件につき、いろいろと試しながら探してもらいたい(川村会長)

#### 6. ウェブ問合せへの回答事例分析 (川村) 資料 05

8月中旬以降 4件の問い合わせに対応した。それぞれ、今後の対処を示唆する面を含んでいるので、役員各位の意見を聞きたい

⇒実務に絡む問い合わせに対する回答は、業務斡旋にならないように注意する必要がある。また、個別の内容は、理事の代表メールでやり取りすることは避けた方がよいと思われる。(渋谷理事)

⇒JSPEとして、XXを参考に、等が言えれば良いと思う。何かしらの判断をすることは良くないが、知っている事を伝えるだけであれば良いのでは。また、間違った情報を共有した時の責任は避けるべきであるが、何もしないとPEの実力が疑われる(鈴木理事)

⇒問い合わせを見ると、PEは役所の認証と勘違いしているところが多い。また、これが原因で海外展開をあきらめる企業もあるだろう。こういった情報がどこにもまとまっていないため、若干踏み込んだ返信をしたが、表向きの返事だけをして、JSPEの信頼が疑われかねない。これらの情報があるのかどうかということは、日頃から気にしておいてほしい。この情報量が、JSPEの評判にも関わる(川村会長)



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

【報告事項】（報告予定事項と提議者・部会名を記載のこと）

1. JSPE Day 準備状況 : 教育部会  
プログラムは以下の通り

第一部: 10:30-12:00
開会挨拶、合格者の読み上げなど(10:30-11:00)
講演: 11:00-12:00
技術者倫理における環境への言及(渋谷高広 JSPE 理事)
第二部: 13:00-16:30
基調講演: 13:00-14:30
地球環境問題におけるエンジニアリングの役割(黒沢厚志氏)
休憩: 14:30-14:45
講演 1: 14:45-15:30
21 世紀の水問題について考えよう! (西村謙史 JSPE 会員)
講演 2: 15:30-16:15
石油開発における HSE(横山佳生 JSPE 理事)

- ⇒ 9/11 現在参加申込み者が少ない。理事の方の積極的な参加および周囲の会員へのお声かけをお願いしたい(森山理事)
- ⇒WEB 上で、講演者の概要が若干見づらい(川村会長)
  - 概要を WEB の最初(上部)に掲載するとともに、見やすく修正する(柴山理事)
- ⇒出張からの帰国が JSPE 当日朝となる。講演に間に合うかは、ぎりぎりの状態(横山理事)
  - 万が一間に合わない場合は、私に対応する。内容も新規に作成する。ただし、横山理事の講演内容における配布資料は参加者に配り、後日 ES の議題にしたりしたいと思う。また、火曜日には、講演者の発表資料が届く予定である(森山理事)

2. 鬼金セミナー 準備状況 : 鬼金分会

SAME 横田から PMP に関する Round Table Discussion を行いたいとの要望が寄せられている。

⇒SAME に対して PMP のセミナーを行うことに対して REP 登録費用への影響はないか。また、SAME として REP 登録はしていないのか。(渋谷理事)

→外部へのセミナー提供は現 REP 登録内容で可能であり費用追加などは不要。(阪井理事)

→SAME 横田ではひょっとすると、PMP/PMBOK の対面解説を英語で聴くことができる機会が無いことに困っているのかもしれない。その代替として JSPE のセミナーに参加したいということかもしれない(川村会長)

⇒SAME 横田からは、行事は週末ではなく平日を希望と聞いている。10 月中に先方との面談をセットするよう調整する(森山理事)

⇒SAME 横田については以上の事情から渉外ではなく教育部会を当面窓口とする。(川村会長)

3. YEP 準備状況: 教育部会

SAME 横田の会員であり JSPE 会員でもある方に講師を引き受けて頂くことも検討している。上記とあわせ調整する。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

4. JABEE 国際委員会出席報告（川村） 資料 06

8 月 4 日 JABEE 国際委員会に出席し、中国の WA 加盟、英国の 3 年制学位認定問題、ABET 審査員研修会参加記、ABET EAC 基準改定の動きなど情報入手したことが報告された。

5. 事務所あて郵便物自動転送（川村）

9 月 1 日より赤坂事務所あて郵便物が自動的に神戸の川村宅へ転送することとなった。（郵便転居先転送サービスを活用）

⇒郵貯関係の書類については、1-2 カ月に一度、まとまった時点で渋谷理事へ郵送する（川村会長）

6. ウェブサイト最新情報報告：広報部会

7 月理事会にて挙げたウェブサイトへの掲載事項の進捗状況が報告された。

【次回理事会予定】 11 月 19 日（土）9:30～

【議事承認印】

承認	川村 武也	
承認	阪井 敦	
承認	柴山 美香	
書記	三野 史朗	